

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人とねの会　くれーるToNe		
○保護者評価実施期間	R7年3月1日　～　R7年3月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R7年3月1日　～　R7年3月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズを計画に反映し、支援につなげていること。	保護者の方の「こう育ってほしい」という気持ちに寄り添い、計画にも反映したり、日頃の支援の中で意識して取り組んだりしている。子育てに不安や悩み等がある場合には、個別に面談も実施し、保護者の方の不安の軽減に努めている。	モニタリング時には毎回ニーズの確認を行っているが、本人の発達状況を見て、6か月を待たずに計画を見直すことも可能なので、保護者の方からのご要望があれば臨機応変に対応していきたい。
2	日頃から情報共有を行い、こどもの健康や発達状況について共通理解を図っていること。	連絡帳や送迎時のやり取りを通して、日頃からお預かりしている間の様子をお伝えしたり、利用日以外のお家での様子や出来事を共有していただいたりした。教えていただいた出来事をコミュニケーションのきっかけにすることもある。	ゆっくり時間を取って話をすることがなかなか難しい方も多く、連絡帳が保護者の方とのやり取りの中心になっている。こちらでも保護者の方に教えてもらいたいこと等があれば、連絡帳を通して発信していきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族参加型の研修やプログラム等が未実施であること。	平日はほぼ全ての保護者の方が就労されており、営業時間内に研修を実施したとしても、参加するためにお仕事を休んでもらわなければならない、保護者の方への負担が増えてしまう。	ペアレントトレーニング等、実施してほしいという需要があれば、なんとか実施できるように検討したい。研修会等の情報はくれーるでの掲示や、直接配布する形で情報提供していきたい。
2	日頃の活動内容をHPやSNSで公表したり、お便り等の発行をしていないこと。	日頃の活動内容については全員連絡帳に記載し、その日のうちに返却しているため、HP等への掲載は特に行っていない。お便り等も、お知らせする必要が生じた時に対象の方への配布を行っている。	保護者の方からのご要望が特にないので、現状のままでやっているが、もしご意見等が出てくるようであれば実施していくことも検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe

公表日 R7 年 4 月 14 日

利用児童数 11

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1		1	・怪我もなく嫌がらず通ってくれているので大丈夫です。 ・狭い印象があるが、子どもが満足して帰ってくるので十分なかもしれない。	利用人数が多い時間帯には、庭も活用して対応しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		2		安全が確保できる人数を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6		1	1	・入口が段になっているので雨の日などは大変なのではと思う。	入口はバリアフリー化されておられません。雨の日等は職員が傘をさす等して、お子様が濡れずに靴の脱ぎ履きができるよう配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1			・子どもの苦手な物を嫌々やらせるのではなく楽しくやらせているので嬉しく思います。	苦手なことは無理強いせずに、今できることを伸ばしていく支援を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1	・毎回の連絡の紙を回収でなく家庭に残してほしい。	連絡帳は運営管理の都合上、こちらで保管しておかなければならない物になっております。あらかじめご了承ください。ご家庭でコピーを取られたり、写真を撮って残しておいていただくことは可能ですので、各自ご対応いただくと助かります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1		1	・子どもだけでなく私や夫へのケアも忘れず配慮していただいて嬉しく思います。	ご家族の支援もサービスの一つです。ご心配なことやお困りのことがありましたらお一人で抱えずにご相談ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		1		活動は週ごとに担当を変えて計画しており、毎回同じ活動にならないよう配慮しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	1		園庭や散歩等、こども園で遊ぶお子さんと活動場所が同じになることがありますので、その場合は一緒に活動することもあります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		4		家族支援プログラム等の研修会はくれーるでは実施しておりませんが、他機関での研修のお知らせについてはくれーる入口の下駄箱の上に掲示したり、配布したりすることもありますのでご覧ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		1		ご希望に応じて個別で面談対応しております。ご希望がありましたらご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1				できる限り、保護者の方の思いに寄り添った支援を行っていきたくと考えております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	2	5		保護者の方同士の交流の機会は今のところ設けておりません。ご希望がありましたらご連絡ください。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			2		契約時の重要事項説明書に、相談・苦情窓口を記載しており、契約時にご説明させていただいております。電話やメールでも対応可能です。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1				なかなかお会いできない保護者の方には、メモをつけたり電話をさせていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1		4		日頃の活動の様子はHPにはあげておりませんが、自己評価の結果につきましてはHPにて公表しますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		3		マニュアル類はくれー入入口の下駄箱上に閲覧用ファイルに一式備えております。お時間のある時にご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2		3	・非常口マークがたくさんあります。	非常時の訓練はこども園の実施時と同時にっております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				・お迎え時に詳しく話してくれて、看護の先生が傷の手当などしてくれたので良かったです。 ・嫌がらず通所しています。	利用時間内の怪我につきましては、こども園の看護師に判断を仰いでおります。クラス担任にも引き継いでおります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8				・いつも笑顔で楽しかったと話してくれます。 ・嫌がらず通所しています。	私たち職員一同も楽しく過ごさせていただいております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				・毎回楽しみにしています。	次回が楽しみになるような活動をしていけるように心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
社会福祉法人とねの会 くれーるToNe		R7 年 4 月 1 4 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	△		屋内と屋外を活用し、人数が多い時には分散して過ごすようにしている。	学校の長期休業日については、小学生が長い時間利用するため同じ時間に同じ場所で過ごす子どもの数が多くなりがちである。安全のため、利用曜日を限定したり、協力できる方はお休みしていただいたりする必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		状況に応じて職員を配置して対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	事業所自体は部屋数も少ないため、分かりやすい構造になっている。	玄関口が高く設計されており、車椅子利用の方等に向けたバリアフリー化は未実施。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児児から放デイの入れ替えの際や、食事支援の後等には、おもちゃの消毒、床の清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	部屋数が少ないため、子どもに個別の部屋を使用させるということとはしていない。	相談室があるため、椅子やテーブル等を整理して危険な箇所を取り除き、子どもたちのクールダウンの部屋としても活用していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りを次回の活動に活かしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価については実施の予定は今のところない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの研修のお知らせや、外部研修については職員間で共有し、興味のある研修には参加できるように進めている。	毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて公表している。	毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画作成の際は職員間でこどもに対するアセスメントを共有し、ニーズも反映させながら作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成会議を通して、職員の意見を取り入れながら作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員が見られる場所に保管しており、週の計画作成の参考にできるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所ではフォーマルアセスメントは実施しないが、医療機関で実施した結果等を共有していただき、参考にさせていただいている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		項目の通り、設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	△		週の活動については担当者を交代しながら作成しており、担当者が行いたい活動を計画することもあれば、他の職員に相談して計画することもある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		担当者が毎回固定にならないようにしており、複数の視点から活動が計画できるようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要であれば個別で活動を計画することもあり、その場合は自由遊びの時間を個別に使うなどしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝の時間に職員間で打合せを実施し、その日一日の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日のうちや、翌日には振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の記録及び、個人の記録を残すようにしており、何か変わったことがあれば職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一度はモニタリングを実施しており、ニーズや目標の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎回管理者が出席するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		市や医療機関等、関係機関とは普段から密に連絡を取り合っており、情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在児童発達支援を利用しているこどもは全員こども園と併行利用している。そのため、クラス担任や関わる職員との日々の情報共有は丁寧に行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校との引継ぎには管理者も出席し、事業所での様子等の引継ぎを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		機関相談支援センターと連携し、不明な点は相談しながら解決している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		こども園の敷地内で活動することも多いため、お散歩コースが同じになったり、同じ遊具で遊ぶこともあり、その際は異年齢でも交流することがある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳にてやり取りしているが、それ以外にもお迎え時に直接お話をしたりして共通理解を図るようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族支援プログラムについてはご希望なく実施していない。	ペアレントトレーニング等の実施してほしいという要望があれば検討する。研修機会についてはお知らせを配布したり掲示したりして情報提供を行っている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約後にアセスメントの機会を設けており、その際に詳しくご意向について確認させていただいている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成時や、モニタリング時に説明を行い、サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の方からのご相談は随時受け付けており、営業時間内であれば面談等の対応も行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今のところ実施してほしいという要望もなく、保護者・きょうだい同士の交流の機会は設けていない。	利用者の方からのご要望があれば検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応の体制は重要事項説明書に記載の通り。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	日々の活動の様子は個々に違っていることもあり、個々の連絡帳に詳しく記載してお知らせするようにしている。全体としての通信等は発行していない。	必要事項は別途お知らせを配布することで対応している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳のやり取りだけでは不十分なこともあるため、電話連絡も活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所では行事等は行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル類はくれーの出入口に閲覧用ファイルを置いている。訓練はこども園と同時にやっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練は年に一度程度行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時に必ず確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		意思の指示書をお預かりし、お弁当を持参する等の対応をお願いしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間の安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施し、記録に残している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもと一緒に訓練を行った際には、連絡帳に記載してお知らせするようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録して残し、職員間で共有して再発防止策を検討し、すぐに実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に一度虐待防止、身体拘束適正化の委員会、研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行う可能性のあるこどもの保護者には事前に説明し、必要であれば計画に記載することになっている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人とねの会　くれーるToNe		
○保護者評価実施期間	R7年3月1日　～　R7年3月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R7年3月1日　～　R7年3月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からできるだけ子どもたちの状況を保護者の方と共有すること。	お迎え時しか保護者の方とお話できる機会がないため、学校にお迎えに行った時の担任からの情報や、くれーるでの状況をできる限りお伝えするように意識して行っている。	お迎え時に足りない場合には、電話やメールを活用して情報共有ができると良い。
2	子どもたちだけでなく、保護者の方の育児の悩みや不安なこと等のご相談に対応していること。	小学校以上になると、子どもを育てることについて相談できる機関が少なくなり、「どこに相談したらいいのかわからなくて」とお話をいただくこともある。必要な時には個別でお話を伺い、市につないだり、医療機関の情報提供を行ったりと、保護者の方のご相談に対して、こちらができる限りの対応は特に意識して行っている。	相談に乗りますと事業所側から積極的に発信しているわけではなく、本当は相談したかったという保護者の方もいたかも。モニタリング時等の機会を使って、配慮していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間が限られること。長期休業日には児童発達支援利用児と一つの部屋で過ごすことになるため、どうしても大きい子どもたちの活動が制限されることがある。	長期休業日は保護者の方もお仕事都合で朝から利用したい方も多く、あらかじめご了承くださいという状況にある。事業所としてもご家庭の状況にできるだけ配慮したいと考えており、長期休業日の利用時間を短くすることはできるだけ避けているが、今後利用人数が増えてきた場合には仕方なくご協力をお願いすることもあるかもしれないと考えている。	室内でできる遊びを少しずつ増やしているところで、子どもたちの興味関心を伺いながら、楽しめる教具・遊具を工夫して考えていきたい。
2	父母会やきょうだい支援の未実施。家族支援としてのプログラムを実施していない。	平日お仕事をされている保護者の方が多いため、負担を軽減するために事業所主催のプログラム等は実施していない。	保護者の方からご要望があればいつでも実施検討するため、ご連絡をいただきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe

公表日 R7年 4月 14日

利用児童数 6

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1				利用人数が多い時間帯には、くれーるの庭や、こども園の園庭、散歩等も活用して対応しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1				安全が確保できる人数を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1				入口はバリアフリー化されておりません。雨の日等は職員が傘をさす等して、お子様が濡れずに靴の脱ぎ履きができるよう配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1		お子さんの持つ特性や興味関心に応じて、流動的に活動しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1				個別支援計画に基づき、各々に必要な支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1		子どもたちの興味関心を元に活動内容を決めています。やりたいことが毎回同じという場合もありますが、本人の意思を尊重した支援を行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1		2		他の子どもと活動する機会は特に設けておりません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			3		家族支援プログラム等の研修会はくれーるでは実施しておりませんが、他機関での研修のお知らせについてはくれーる入口の下駄箱の上に掲示したり、配布したりすることもありますのでご覧ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1				ご希望に応じて個別で面談対応しております。ご希望がありましたらご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				5		保護者の方同士の交流の機会は今のところ設けておりません。ご希望がありましたらご連絡ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			2		日頃の活動の様子はHPにはあげておりませんが、自己評価の結果につきましてはHPにて公表しますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1				個人情報については、営業時間外は施錠付きのロッカーに保管、事務室も施錠しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			2		マニュアル類はくれー入入口の下駄箱上に閲覧用ファイルに一式備えております。お時間のある時にご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			2		非常時の訓練はこども園の実施時と同時に行っております。活動途中であっても一緒に訓練に参加しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1				送迎や利用時間の調整等、日頃からご協力をいただきありがとうございます。今後も満足していただけるような支援を行っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
くれーるToNe		R7 年 4 月 1 4 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	△		屋内と屋外を活用し、人数が多い時には分散して過ごすようにしている。	学校の長期休業日については、小学生が長い時間利用するため同じ時間に同じ場所で過ごす子どもの数が多くなりがちである。安全のため、利用曜日を限定したり、協力できる方はお休みしていただいたりする必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		状況に応じて職員を配置して対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	事業所自体は部屋数も少ないため、分かりやすい構造になっている。	玄関口が高く設計されており、車椅子利用の方等に向けたバリアフリー化は未実施。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児発から放デイの入れ替えの際や、食事支援の後等には、おもちゃの消毒、床の清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	部屋数が少ないため、子どもに個別の部屋を使用させるということはしていない。	相談室があるため、椅子やテーブル等を整理して危険な箇所を取り除き、子どもたちのクールダウンの部屋としても活用していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りを次の活動に活かしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年 1 回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価については実施の予定は今のところない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの研修のお知らせや、外部研修については職員間で共有し、興味のある研修には参加できるように進めている。	毎年 1 回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて公表している。	毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画作成の際は職員間でこどもに対するアセスメントを共有し、ニーズも反映させながら作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成会議を通して、職員の意見を取り入れながら作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員が見られる場所に保管しており、週の計画作成の参考にできるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所ではフォーマルアセスメントは実施しないが、医療機関で実施した結果等を共有していただき、参考にさせていただいている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		項目の通り、設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	△		週の活動については担当者を交代しながら作成しており、担当者が行いたい活動を計画することもある。他の職員に相談して計画することもある。	

支 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		担当者が毎回固定にならないようにしており、複数の視点から活動が計画できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要であれば個別で活動を計画することもあり、その場合は自由遊びの時間を個別に使うなどしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝の時間に職員間で打合せを実施し、その日一日の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日のうちや、翌日には振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の記録及び、個人の記録を残すようにしており、何か変わったことがあれば職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一度はモニタリングを実施しており、ニーズや目標の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			地域交流の機会はあまり持つことができていないが、こども園のこどもたちとは関わる機会がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容は自己選択・自己決定を尊重しており、やりたいと思ったことができる限り叶うように支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		毎回管理者が出席するようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			学校によっては下校時刻が変動しやすかったり、トラブル発生時に授業等で連絡がつかないこともあるため、日頃の送迎時から情報共有や連絡調整を担任と行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		同法人のこども園の卒園生については情報共有がしやすいが、そうでないこどもについてはなかなか情報共有ができていないことが課題。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	機関相談支援センターと連携し、不明な点は相談しながら解決している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		特に他の児童との交流の機会は設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		部会等、声が掛かった会に関しては管理者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳にてやり取りしているが、それ以外にもお迎え時に直接お話をしたりして共通理解を図るようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族支援プログラムについてはご希望なく実施していない。	ペアレントトレーニング等を実施してほしいという要望があれば検討する。研修機会についてはお知らせを配布したり掲示したりして情報提供を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約後にアセスメントの機会を設けており、その際に詳しくご意向について確認させていただいている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成時や、モニタリング時に説明を行い、サインをいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者の方からのご相談は随時受け付けており、営業時間内であれば面談等の対応も行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	今のところ実施してほしいという要望もなく、保護者・きょうだい同士の交流の機会は設けていない。	利用者の方からのご要望があれば検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	対応の体制は重要事項説明書に記載の通り。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	日々の活動の様子は個々に違っていることもあり、個々の連絡帳に詳しく記載してお知らせするようにしている。全体としての通信等は発行していない。	必要事項は別途お知らせを配布することで対応している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	鍵付きの書庫で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	連絡帳のやり取りだけでは不十分なこともあるため、電話連絡も活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	事業所では行事等は行っていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアル類はくれーの出入口に閲覧用ファイルを置いている。訓練はこども園と同時にやっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	訓練は年に一度程度行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	アセスメント時に必ず確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		該当なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	年間の安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施し、記録に残している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	こどもと一緒に訓練を行った際には、連絡帳に記載してお知らせするようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	記録して残し、職員間で共有して再発防止策を検討し、すぐに実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	年に一度虐待防止、身体拘束適正化の委員会、研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		該当なし	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人とねの会 くれーるToNe			
○保護者評価実施期間	R7年3月1日		～	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	R7年3月1日		～	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	R7年3月1日		～	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援の子どもたちについては同じ敷地内に事業所があること。	訪問として確保している時間以外にも、普段の生活の様子を頻繁に見に行ったり、担任とその日の様子について密に情報共有を行ってきた。	小学校は行事や授業の予定もあり、なかなか頻繁に訪問することが難しかった。小学校への訪問は優先的に予定に入れながら、他の予定を調整していく必要がある。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員がほとんど1人で実施しており、他の職員へ共有する機会がなかなか取れなかったこと。	訪問支援員は2人いたものの、実情は1人で実施しており、担任との情報共有も1人で行っていた。そのため他の職員への共有が不足していたところがあった。	職員間の定期的な会議時や、個別支援計画作成会議時等の職員が集まる機会を使って、訪問時の様子を共有する時間を持つ。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe

公表日 R7 年 4 月 1 4 日

利用児童数 11

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			4	・ 訪問支援に教具が何か分からない	訪問時に特に教具等は持っていくことはありませんが、その場で遊んでいる遊具や教具を使って直接働きかけることがあります。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	1		1		くれーる内に面接室の備えがあります。 必要な場合にはご利用いただけます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10				・ クラスの活動と家庭の予定を考慮して いただいて助かります。	なるべくご家庭のご希望日に沿うよう対応しておりますが、園行事が重なったり、希望日が他のお子さんとかぶってしまったり、支援員がお休みだったりして都合が合わない時にはスケジュールリングし直しており、ご希望に添えないこともあります。ご協力をよろしくお願いたします。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	9			1		職種や人数については契約時の重要事項説明書にも記載してありますが、今年度は主に心理士1名が訪問させていただきました。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9		1			こども園の担任とは計画を共有して意向を伺っていましたが、学校の担任とは共有ができておりませんでしたので、今後行っていきます。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2		こども園や学校の活動内容、保護者の方のその時のご意向も踏まえて直接支援、間接支援を行っているため、計画の文面はあまり具体的ではなかったかもしれません。今後は具体的に内容を記載するようにします。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			3		個別支援計画に基づいた支援を行っております。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9			1		訪問先の状況に配慮し、学校行事で忙しい時期は避けたり、カンファレンスを下校後の電話で行ったりと、相手方の事情を優先して行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1		6		家族支援プログラム等の研修会はくれーるでは実施しておりませんが、他機関での研修のお知らせについてはくれーる入口の下駄箱の上に掲示したり、配布したりすることもありますのでご覧ください。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9			1		ご希望に応じて個別で面談対応しております。ご希望がありましたらご連絡ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1		契約時の重要事項説明書に、相談・苦情窓口を記載しており、契約時にご説明させていただいております。電話やメールでも対応可能です。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	1		2	・クラスの先生方の意見もプラスに働いていると思います。	毎回クラスの先生方にも報告したり情報共有をしたりしながら、コメントをいただいています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10				・とても丁寧な報告が行われている。	まるで保護者の方の目で今まさに見ているかのような記録を書くよう心がけています。今後なるべく分かりやすく丁寧にお伝えできるようにしていきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			5		日頃の活動の様子はHPにはあげておりませんが、自己評価の結果につきましてはHPにて公表しますのでご覧ください。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7			3		こども園では訪問中に避難訓練等があった場合には一緒に参加しております。緊急時にはその場の避難誘導等行い、子どもたちの安全が確保されたのちに事業所に戻ります。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10				・家では特に嫌と話していない。	訪問時にお子さんが嫌がったり、恥ずかしがったりすることもあります。その場合は離れたところから様子を見ることもありますので、あらかじめご了承ください。
	28	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
社会福祉法人とねの会　くれーるToNe		R7　年　4月　14日				
		利用児童数		11	回収数	6
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	3		・理想であるが難しい所もあると思う。 ・助言や説明は分かりやすかった。取り入れられるものは取り入れたいと思った。	支援員の答えが全てではないし、実践するように強要しているわけでもないので、できることから無理せず環境調整に取り組んでいただけると良いかと思う。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	2		・訪問支援の最後に時間を設けて質問や振り返りの時間があるため聞きやすい。	訪問の後に時間を取っているが、それ以外の時間でもいつでも連絡をいただければ対応したい。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	3	1	・保育の最中に集団行動ができないことがあるので、そういう時を見てくださいと助かる。 ・課題は見つかるが、(困りごとが)子どもの気持ちの部分によるものが大きいので、軽減まではいけなかった	担任の先生が感じている課題と、本人の困っていることは違うことがある。環境を調整していただいても、また新たな課題が生じることもある。その都度訪問時に相談していただき、保護者の方とも共有しながら対応にあたっていきたい
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	2	1	・もう少し長い時間見てくださいと助かる。	10時から15時の営業時間内であれば、ご相談いただき対応したい。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・保護者から要望・意見等があった際には担任へ話を通してほしい。				保護者の方からの要望・意見については、保護者の方からクラス担任に伝えて欲しいというお話があった場合にはお伝えしているが、クラスには伝えて欲しくないということに関しては場合によって伝えないこともあるため、必ずしも全てのお話を通すことはできないことをご理解いただきたい。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
くれーるToNe		R7 年 4 月 1 4 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		○	訪問時に教員教材を持参することはないが、こどもがその場で遊んでいる物を使用することはある。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		主に1人で訪問していたため、予定が合わないという訪問できないことがあった。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りを次の活動に活かしている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価については実施の予定は今のところない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県からの研修のお知らせや、外部研修については職員間で共有し、興味のある研修には参加できるように進めている。	毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		計画作成の際は職員間でこどもに対するアセスメントを共有し、ニーズも反映させながら作成を行っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こども園のこどもたちについては、クラス担任にもクラスの様子等情報共有しながら計画に反映している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			学校の担任とは、計画作成後の共有になることが多いため、計画作成前に情報共有を行うようにする。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員が見られる場所に保管しており、週の計画作成の参考にできるようにしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所ではフォーマルアセスメントは実施しないが、医療機関で実施した結果等を共有していただき、参考にさせていただいている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれのこどもの集団の中での課題をアセスメントし、計画や実際の支援に反映している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は職員が見られる場所に保管しており、週の計画作成の参考にできるようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝の打合せ時に訪問の確認も合わせて行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問終了後に訪問時の様子について職員間で共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		特に訪問先のクラス担任の理念や手法を尊重し、負担を増やすことのないように配慮している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援後に記録としてまとめ、担任や保護者の方へ共有を行っている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画の作成時やモニタリング時にクラスでの様子の変化や意向の確認を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者が出席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		訪問先学校や、こども園とは特に連携して情報共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校との引継ぎには管理者も出席し、訪問時の様子等の引継ぎを行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		希望すれば参加できる環境を整えている。	
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		毎回管理者が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問時の記録だけでなく、送迎時に伝えられる時にはその日の様子をお伝えしたり、モニタリング時に詳しくお話ししたりして共通理解を図っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族支援プログラムについてはご希望なく実施していない。	ペアレントトレーニング等を実施してほしいという要望があれば検討する。研修機会についてはお知らせを配布したり掲示したりして情報提供を行っている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		必要に応じて、校長先生や担任の先生と面談を行い、訪問支援とは何かということから丁寧に説明を行い、訪問について理解を得られるようにしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約後のアセスメント面談の際に、意向について確認を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成時や、モニタリング時に説明を行い、サインをいただいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の方からのご相談は随時受け付けており、営業時間内であれば面談等の対応も行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今のところ実施してほしいという要望もなく、保護者・きょうだい同士の交流の機会は設けていない。	利用者の方からのご要望があれば検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応の体制は重要事項説明書に記載の通り。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	日々の活動の様子は個々に違っていることもあり、個々の連絡帳に詳しく記載してお知らせするようにしている。全体としての通信等は発行していない。	必要事項は別途お知らせを配布することで対応している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管している。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳のやり取りだけでは不十分なこともあるため、電話連絡も活用している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問後や後日に時間を取って訪問先との振り返りを行っており、何か相談等があれば対応する時間を取っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問後の時間や、後日時間の取れるタイミングでカンファレンスを行って、次の訪問に活かしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問の記録を作成し、担任とカンファレンスを終えた後に保護者の方へ共有している。	訪問利用者数が増えたことにより、各クラスとカンファレンスを行う時間がすぐには取れなくなり、保護者への共有が遅くなってしまった。今後改善していきたい。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管している。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		保護者の方の意向と、クラス担任の悩みが重なり支援がうまくいかないこともあるため、担任の抱える問題を丁寧に聞くように心がけている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル類はくれーる出入口に閲覧用ファイルを置いている。訓練はこども園と同時にやっている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間の安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施し、記録に残している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録して残し、職員間で共有して再発防止策を検討し、すぐに実施している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に一度虐待防止、身体拘束適正化の委員会、研修を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			該当なし	